

適正化事業巡回指導実施状況について

■事業者調査・指導件数

※平成27年7月末日現在

月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
27年度 計画数	30	30	30	20	30	35	35	30	25	25	25	25	340
27年度 実績	32	35	37	23									127

■年度別ワースト5

7月末時点の進捗率 115.5%

各項目別の調査件数、指摘件数のうち指摘事項の多い項目は次の通りです。

※平成27年7月末日現在

	年度	調査項目	調査件数	(否)件数	(否)率
①	27年	運行指示書の作成、指示、携行、保存は適正か。	34件	17件	50.0%
	26年	運行指示書の作成、指示、携行、保存は適正か。	21件	10件	47.6%
	25年	運行指示書の作成、指示、携行、保存は適正か。	29件	16件	55.2%
②	27年	特定の乗務員に対して特別な指導を行っているか。	79件	30件	38.0%
	26年	特定の運転者に対して特別な指導を行っているか。	68件	31件	45.6%
	25年	特定の運転者に対して特別な指導を行っているか。	67件	29件	43.3%
③	27年	特定の乗務員に対して適性診断を受けさせているか。	79件	28件	35.4%
	26年	特定の運転者に対して適性診断を受けさせているか。	68件	27件	39.7%
	25年	乗務員に対する輸送の安全確保に必要な指導監督を行っているか。	110件	33件	30.0%
④	27年	過労防止を配慮した勤務・乗務時間を定め・・・時間が適正に管理されているか。	127件	34件	26.8%
	26年	点呼の実施及びその記録・保存は適正か。	111件	29件	26.1%
	25年	特定の乗務員に対して適性診断を受けさせているか。	68件	19件	27.9%
⑤	27年	点呼の実施及びその記録・保存は適正か。	127件	32件	25.2%
	26年	過労防止を配慮した勤務・乗務時間を定め・・・時間が適正に管理されているか。	111件	26件	23.4%
	25年	整備管理者に所定の研修を受けさせているか。	72件	19件	26.4%

■巡回指導時における改善指導項目（否）内容

巡回事業所 121 件

(平成27年4月～平成27年7月)

順位	重点	項目	該当件数	(否)該当理由	件数	(否)合計	該当件数に対するの (否)合計比率(%)	
①	○	(10)運行指示書の作成・携行・保存	34	一部未作成	改善基準告示違反(知識不足) 保存・管理不足(正・副、携行なし等)	8	17	50.0%
				未作成		3		
②	○	(12)特定の運転者に対する特別教育	79	事故履歴未取得		6	30	38.0%
				一部未実施	初任運転者教育未実施	12		
					事故惹起運転者教育未実施	0		
					適齢運転者教育未実施(高齢者)	0		
				未実施(教育知識不足)		0		
②	○	(13)特定の運転者に対する適性診断	79	一部未実施	初任診断未実施	26	28	35.4%
					特定診断未実施(事故惹起者)	0		
					適齢診断未実施(高齢者)	2		
				未実施(診断知識不足)		0		
④	◎	(5)過労(運転)の防止	127	改善基準告示の知識不足		0	34	26.8%
				連続運転(4時間超)		6		
				拘束時間超過(1日、1週間、1ヵ月等)		5		
				休息時間不足(荷主要請等)		23		
⑤	◎	(7)点呼の実施及び記録・保存	127	一部未実施	中間点呼未実施	6	32	25.2%
					早朝・深夜未実施(管理者不在等)	10		
				全未実施		0		
				検知器未使用(早朝・深夜・帰庫時・携帯なし等)		2		
				記録不足(検印・後付け等)		2		
知識不足(点呼時期不適切等)		12						

※ 印は各項目のうち、特に多く(否)と判定された理由。